



地域で見守る

スポットライト
一つのテーマに照明を当てて紹介します

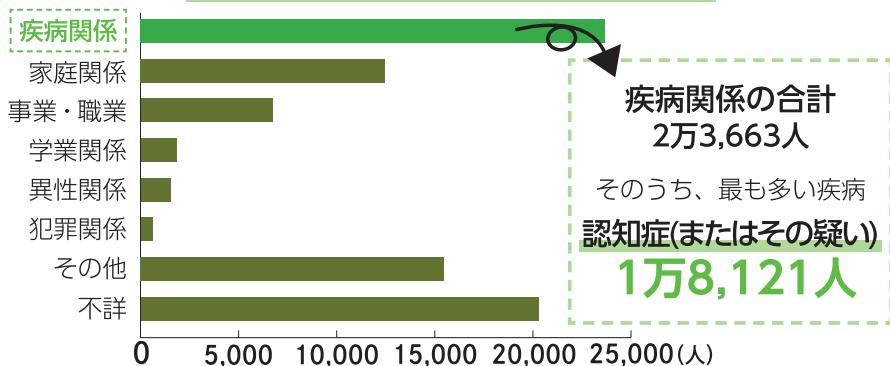
全国的に高齢化が進む中で認知症高齢者の増加が見られ、地域での支援が重要となっています。市は、新たな支援の一環として、「取手市高齢者等見守りネットワーク事業」の取り組みを始めるなど、地域の方と協力しながら、高齢者や認知症(若年性認知症を含む)の方などが安心して住み続けられるまちづくりに努めていきます。

☎ 高齢福祉課 ☎ 内線1321

認知症による行方不明者の状況

令和6年の1年間で全国の警察に届け出のあった、認知症(またはその疑い)による行方不明者は、1万8,121人。そのうち、60歳以上が1万7,983人と大半を占めています。※令和6年の行方不明者の総数は、8万2,563人。

原因・動機別行方不明者数の推移



参考：「令和6年における行方不明者届受理等の状況」

警察庁生活安全局人身安全・少年課

取手市高齢者等見守りネットワーク

見守りネットワークとは、市・地域包括支援センター・市内の参画事業者・関係機関・地域住民が連携し、市内の高齢者などを地域全体で見守る仕組みです。

普段の生活や仕事中などに、様子が心配な高齢者を見つけた場合、市または地域包括支援センターにご連絡ください。提供された情報により、支援が必要な方へ有効な福祉サービスの利用につなげていきます。

